

# 東建パブリニュース

平成28年10月3日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成28年9月29日 中部経済新聞 P. 9

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

東建コーポレーションが、桑名市多度町に開設した会員制リゾートホテル「ホテル多度温泉レジデンス新館」の販促を強化している。同ホテルのホームページ（HP）上でホテル内の施設を画像で紹介する取り組みを始めた。360

度見渡せる画像で、ホテルの魅力を一瞥的に訴えている。加えて、宿泊体験も開始した。同ホテルは、1部屋につき12口の会員権を設定。販促強化で販売総数156口のうち、残る26口の早期完売を目指す。（松田理恵子）

## 360度画像でいつでも見学



販促強化する「ホテル多度温泉 レジデンス新館」

米グーグル社がインターネット上で提供している「ストリートビュー」を活用し、ホテル内の画像を公開している。温泉やプールなどの施設が、自宅などに居ながらにして見学できる。同社によると「ストリートビュー」で日本最大規模。ホテルまで出向かなくても、実際に歩いて見ることができると「ウェアラブル制作部」という。このほか、販促の一環として、1日宿泊体験できるプランを設定した。同社では「写真だけでは伝わり切らないホテルの良さを体験してもらいたい」として、

東建コーポレーション

### 会員制リゾートホテル 完売へ販促強化

レジデンス新館は、同社の敷地内にある。2015年秋に開設した。地上8階建ての機能で、周囲360度の風景が表示できる「ストリートビュー」で、延べ床面積は4266平方メートル。総客室21室のうち13室を会員制とし、1部屋当たり12会員で共有。年間30泊できる仕組み。30年間利用でき、無記名式の子供セットにより購入者以外も宿泊できる。すでに最上位価格の2部屋が24口が完売するなど8割が販売済み。リビングと和室、寝室のタイプ（法人価格66万円）25口、ツインタイプ（同440万円）1口の早期完売を目指して販促強化に乗り出した。

▲平成28年9月29日 中部経済新聞 P. 2

以上